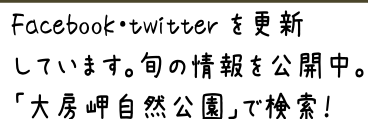


大房岬自然公園ニュースレター No.124



・予約・問合せは大房岬ビクターセンターまで  
☎(0470)33-4551





木々が葉っぱを落とした冬の季節は、バードウォッチングに最適！  
そんな冬に大房岬でみられる小鳥たちをご紹介します♪



ジョウビタキ 冬

「冬にみられる小さなお爺（ジョー）ちゃん」

スズメより小さく、頭の灰白色がもっとも特徴的！⇒おじちゃんみたい。  
雄雌に関係なく縄張りをつくって一冬を過ごします。人間のおじちゃんを  
“爺”や“尉”と呼ばれるのは…ジョウビタキの“ジョウ”が由来でもあります。



漂 冬 シメ

「クリーム色の“木の実愛食鳥”」

特徴は、生きていくうえで最適な太い嘴！  
これは木の実を掘みやすくするのと嘴の力を発揮しやすいように進化した  
ものです。シメは、さほど警戒心も強くないので人が作った餌台や鳥小屋、  
ベランダなどにもよく顔を出してくれます。



イカル 漂

「黄色いくちばしの器用な豆割り鳥」

見ての通り、この嘴をもつ鳥は木の実が大好きです！  
大きくくちばしで地上に降りて木の実をつつく姿が冬のバードウォッチングの醍醐味でも  
あります♪黄色く目立つ嘴と灰白色の体が特徴的です。  
イカルは、仲良し夫婦としても有名です。餌を探しに行くにもいつも行動を共にします。

留 漂 カワラヒワ

「深緑色が特徴のベジタリアン」

この小鳥は、本州でも多く見られる種で1年を通して見られます！  
スズメの仲間です。おもに河原に生息をし、アワやヒエを食べるのが名前の由来。  
冬になるとその多くが暖かい地方に移動をします。  
ちなみに地上では木の実を多く食べる“ベジタリアン”らしいです♪



ツグミ 冬

「冬には口をつぐむ鳥」

10月頃に集団でシベリアから  
渡ってきて、翌年の3月頃にまた  
シベリアへと渡っていきます。  
冬を代表する鳥で胸を張り歩き  
ながら食事をするのが特徴的。

**留** 留鳥：同じ地域に1年中生息し、季節移動をあまりしない鳥

**漂** 漂鳥：国内で季節移動する鳥。北海道で繁殖し、本州以南で越冬するものや、高地で繁殖し、低地で越冬するものなどがある。

**冬** 冬鳥：秋に日本より北の国々から渡ってきて日本で越冬し、春に北の国々へ帰って繁殖する鳥。

